

## 未来に向けての挑戦

代表理事 濱田 鉄心

私達は大日本武徳会の誇りある伝統に則り、その輝かしき栄光の歴史を保存継承し、先達の汗と血によって培われた武徳叡智の結晶を脈々と受け継ぐとともに、更なる飛躍発展がなされるようにいかなる事でも挑戦していく事が本会の未来発展への約束であると確信します。

平成二十八年度の定時社員総会並びに武道執行専門委員会で発表された本会の未来的な目的趣旨は四年前に法人化が達成された時に提示された内容と大きな差異は見られません。即ちこれらは本会の普遍的な課題であると言っても過言ではないでしょう。その大きな目的は定款・内規にも明記されているように 一・伝統武道の保存継承 二・青少年教育と育成 三・国際友好親善の促進と世界平和への貢献 四・国内における総合的發展と普及及び促進 五・本会の国際的發展とあります。

これ等一つ一つの目的は全て相互に関連し、どの項目も極めて重要です。会員一同一丸となってこれらの目的を貫徹する事に最善の努力をすれば大きな感動と充実した達成感が全ての人達と分かちあえるに違いありません。本年度四月二十八、二十九日開催予定の第五回世界

武徳祭・第五十四回全国武徳祭は二十カ国の国際部・本部参加者を含めて七百人の武道家が旧武徳殿に集結する大規模な大会行事となります。この大会は武道界のみならず国際文化や社会的な観点から内外の大きな関心を集めることになるでしょう。私達はこの重要な行事を成功させるために本会の誇りを持って最善の努力をしなければならぬと思います。その実現には会員全員の皆様のご協力とご賛同、ご支援が必要であることは言うまでもありません。

さらに本年度は九月十九日には第二十二回全国青少年武徳祭が予定されており、多くの青少年達が伝統武道の真髄を目指して交流し、励まし合いそして競い合います。単なる勝敗を決するスポーツ大会とは異なり遙かに次元の高い武道の奥深さを彼らは演武してくれるものと大きな期待が寄せられています。各団体長には最大のサポートを青少年に与えていただきたいと願うばかりです。この大会も成功させねばなりませんので、皆様方の多大な御支援とご協力をお願い致します。

そして十月十六日には第二十四回平安神宮古武道奉納演武大会が予定されており、平安神宮額殿において奉納演武される先生方の見事な技と気迫が本会の伝統としてこれからも受け継がれていかねばな